

越水に対して「粘り強い河川堤防に関する技術」の第 2 回公募を行います ～越水に対して「粘り強い河川堤防」の技術開発を促進～

国土交通省では、令和元年東日本台風を踏まえ、越水した場合でも決壊しにくく、堤防が決壊するまでの時間を少しでも長くするなどの減災効果を有する「粘り強い河川堤防」の技術開発に取り組んでおります。

技術開発にあたっては、関係業界団体・民間企業等と連携して取り組んでおり、**本日から第 2 回公募を開始**いたします。

（経緯）

- ・令和元年東日本台風では、全国で 142 箇所の堤防決壊が発生し、このうち 122 箇所は「越水」が原因と推定されました。今後も、気候変動に伴い洪水被害がさらに頻発化・激甚化することが考えられることから、関係業界団体、民間企業等と連携し、越水に対して「粘り強い河川堤防」の技術開発を進めております。
- ・これまでの取り組みのひとつとして、令和 5 年 3 月に第 1 回公募を開始し、越水に対する性能等が一定程度確認された 4 技術について、発注者に参考情報を提供するとともに、関係業界団体、民間企業等の更なる技術開発につながることを目的に、令和 6 年 11 月に技術比較表を公表いたしました。

（概要）

1. 公募期間

- （1）エントリー受付：令和 7 年 4 月 23 日（水）～令和 7 年 6 月 13 日（金）
- （2）応募資料受付：令和 7 年 4 月 23 日（水）～令和 8 年 1 月 30 日（金）

※（1）は公募の総数や概要の把握を目的としており、（2）は応募技術の評価を行うことを目的としている。

※（1）で提出した資料に修正等がある場合は（2）で再提出が可能とする。

2. 公募技術に求める性能

- ・既存の堤防の性能を毀損しないこと
- ・越水に対する性能を有すること
（30cm の越流水深に対して、越流時間 3 時間の間は越水に対する性能を維持すること）

3. 公募要領、応募様式

第三者機関 Web ページ（<https://www.jice.or.jp/nebarizuyoi/2>）に掲載いたします。

※本技術の公募は、国土交通省が選定した第三者機関が行うものです。

【問合せ先】

水管理・国土保全局 治水課 課長補佐 窪田 敏一（内線 35622）
減災技術係長 保坂 裕（内線 35624）
TEL：03-5253-8111（代表） TEL：03-5253-8455（直通）

